



安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2021/07/19 改訂日: 2025/03/10 バージョン: 4.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : HALO - Hydrophobic Shampoo
製品コード : 115555679
製品グループ : 取引製品

会社情報

製造業者

Brands Alliance s.r.o.

831 06

BratislavaPri Šajbách 1

T +421244871700

msds@brandsalliance.eu - www.brandsalliance.eu

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (肝臓, 呼吸器系)
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)	: 警告
危険有害性 (GHS JP)	: 強い眼刺激 (H319) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (肝臓、呼吸器系) (H373)
注意書き (GHS JP)	
安全対策	: 蒸気、ミストを吸入しないこと。 (P260) 取扱い後は手をよく洗うこと。 (P264) 適切な保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 (P280)
応急措置	: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 (P314) 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 (P337+P313)
廃棄	: 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。 (P501)
処理時の追加危険有害性	: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
エチルヘキシル硫酸ナトリウム	5.9831	C8H18O4S.Na	(2)-1679,(2)-2840	既存化学物質	126-92-1
ココミドプロピルベタイン	2.409	CxHyOz. N	-	-	61789-40-0
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1.2	C8H18O3	(2)-422,(7)-97	2-(8)-99,2-(8)-317	112-34-5
ジプロピレングリコールメチルエーテル	2.9365	C7H16O3	(2)-426,(7)-97	既存化学物質	34590-94-8
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール	0.0046875	C11H12O3	(5)-3560	既存化学物質	1205-17-0

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ペンタデカラクトン	0.0046875	C15H28O2	(5)-1089	既存化学物質	106-02-5
アリルカプロエート	0.0046875	C9H16O2	(2)-759	既存化学物質	123-68-2

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	： 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	： 眼刺激。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
-------	--

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。
個人用保護具を着用する。

- 接触回避 : データなし

- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

- 処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

- 安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 安全な容器包装材料 : データなし
- 技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
- 容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
- 手の保護具 : 保護用手袋

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN ISO 374-1 EN ISO 374 EN 374-2

眼の保護具：安全メガネ
皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体
外観：液体
色：薄い赤
臭い：果実臭
pH：データなし
融点：データなし
凝固点：< -20 °C
沸点：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
可燃性：データなし
蒸気圧：データなし
相対密度：データなし
密度：データなし
相対ガス密度：データなし
溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)：データなし
爆発限界 (vol %)：データなし
動粘性率：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性：通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性：通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件：推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質：データなし
危険有害な分解生成物：通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)：分類できない
急性毒性 (経皮)：分類できない

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
 分類できない (粉じん、ミスト)

エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
LD50 経皮 ウサギ	6540 mg/kg 出典: NLM
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、約 1,530 mg/kg、2,370 mg/kg の 2 件の報告 (SIDS (2012)) があり、区分 4 と区分外とに該当するが、LD50 値の最小値が該当する区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。なお、31%水溶液の LD50 値は> 2,000 mg/kg (有効成分換算値として > 600 mg/kg) の報告がある (SIDS (2012))。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経口	1530 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、5,660 mg/kg (ACGIH (7th, 2013)、DFGOT vol. 7 (1996))、5,080 mg/kg (雌)、6,530 mg/kg (雄)、6,560 mg/kg (PATY (6th, 2012))、9,600 mg/kg (給餌)、7,300 mg/kg (絶食) (ACGIH (7th, 2013))、9,623 mg/kg (給餌)、7,292 mg/kg (絶食) (PATY (6th, 2012)、EU-RAR (1999)、ECETOC TR 64 (1995)) との報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ラットの LD50 値として、> 2,000 mg/kg (DFGOT vol. 7 (1996))、ウサギの LD50 値として、2,764 mg/kg (PATY (6th, 2012)、EU-RAR (1999)、ECETOC TR 64 (1995))、3,000-4,000 mg/kg (DFGOT vol. 7 (1996))、4,000 mg/kg (PATY (6th, 2012)) との報告に基づき、区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。ラットに飽和蒸気 (28.8 ppm) を 7 時間ばく露した結果 (4 時間換算値 : 38.1 ppm)、死亡例なしとの報告 (EU-RAR (1999)、ECETOC TR 64 (1995)) があるが、このデータのみでは分類できない。
LD50 経口 ラット	5660 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	2764 mg/kg BW 動物 : ウサギ、動物の性別 : 男性、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)、95%CL : 2090-3645

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 のデータが 3 件 (5230 mg/kg、5180 mg/kg、5400 mg/kg) ある (SIDS (2001)) が、いずれも 5000 mg/kg bw 以上であることより区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 が 3 件 (13000-14000 mg/kg、>19000 mg/kg、9500 mg/kg) あり (SIDS (2001))、いずれも 5000 mg/kg 以上であることより区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットに 500 ppm (3.1 mg/L) を 7 時間ばく露により死亡なしとの結果 (SIDS (2001)) から、4 時間ばく露に換算した LC50 値は 661 ppm (4.1 mg/L) 以上となるが、区分を特定できないので「分類できない」とした。なお、試験物質について評価書 (SIDS (2001)) に"saturated vapour (fog) atmosphere"と記載されているので、ミストが混在している蒸気とみなし、蒸気の基準値 (mg/L) を適用した。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/l 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ラット	> 19020 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LD50 経皮 ウサギ	9510 mg/kg BW 動物: ウサギ、動物の性別: 男性、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LC50 吸入 - ラット	> 3000 mg/m³ 出典: ECHA
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW 動物: ウサギ、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、> 5,000 mg/kg (ChemID (Access on January 2017)) との報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、> 5,000 mg/kg (ChemID (Access on January 2017)) との報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ペンタデカラクトン (106-02-5)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : EU メソッド B.1 トリス (急性経口毒性-急性毒性クラス法)、ガイドライン : OECD ガイドライン 423 (急性経口毒性-急性毒性クラス法)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : EU メソッド B.3 (急性毒性 (皮膚))、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LD50 経皮 ウサギ	> 5000 mg/kg 出典 : NLM、THOMSON
アリルカプロエート (123-68-2)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、218 mg/kg、276 mg/kg (JECFA FAS 28 (1991)) との 2 件の報告に基づき、区分 3 とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、300 mg/kg、820 mg/kg (JECFA FAS 28 (1991)) との 2 件の報告に基づき、区分 3 とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	218 mg/kg 出典 : NLM、THOMSON
LD50 経口	280 mg/kg BW 動物: モルモット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性), 95% CL: 246 - 319
LD50 経皮 ウサギ	820 mg/kg BW 動物 : ウサギ、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)、95%CL : 700-940
LD50 経皮	300 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの OECD TG 404 に準拠した皮膚腐食性試験が多数報告されており、いずれも軽度の刺激性であることから (SIDS (2012)) 区分外とした。
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
皮膚腐食性／刺激性	本物質 (未希釈) をウサギ又はモルモットに適用した結果、軽度の刺激性がみられたとの報告 (PATY (6th, 2012)) や、ウサギの皮膚に長期間または反復適用した結果軽度の刺激性がみられたとの記載 (ECETOC TR64 (2005)、BUA 204 (1997)) がある。なお、EU-RAR (1999) は、ウサギ又はラットを用いた経皮への反復投与 (2000mg/kg) で影響がみられなかったことから皮膚刺激性の区分はつかないと判断している (EU-RAR (1999))。詳細は不明であるがヒトに対する原液のパッチテストの結果、何人かに紅斑がみられたとの報告がある (DFGOT vol. 7 (1996))。以上の結果から、区分外 (国連分類基準の区分 3) とした。
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた複数の試験で刺激なし (not irritating) との結果 (SIDS (2001)) がある。ヒトでは皮膚に無希釈の試験物質を 5 日間適用しても刺激性なし (not irritating) の結果により、皮膚刺激物ではないとの結論付けられている (SIDS (2001))。以上より区分外とした。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)

皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------	-----------------

ペンタデカラクトン (106-02-5)

皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------	-----------------

アリルカプロエート (123-68-2)

皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------	-----------------

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激

ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験（OECD TG 405 準拠）が多数報告されており、いずれも中程度の刺激性と評価されているが、虹彩と結膜への影響が 21 日以内に回復しなかった（SIDS（2012））との記載があることから区分 1 とした。
-----------------	--

2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に本物質 0.1 mL を適用した結果、中等度の眼刺激性が認められたが 14 日以内に回復した（ECETOC TR 64 (1995)、ACGIH (7th, 2001)、PATTY (6th, 2012)）との報告がある。なお、本物質は、EU CLP 分類において「Eye. Irrit. 2 H319」に分類されている（ECHA CL Inventory (Access on June 2015)）。中等度の刺激性との記載、及び回復性の記載からガイダンスに従い区分 2A とした。
-----------------	--

ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギに試験物質原液を 0.1 mL 適用後に角膜と眼瞼に刺激症状がみられたが 7 日目までに回復、そのほかに角膜上皮に軽微な影響が認められたとの報告（SIDS（2001））もあり、区分 2B とした。なお、ウサギに試験物質 500 mg を適用した別の試験では刺激性なしとの結果（SIDS（2001））があり、ヒトで 10 人の男性ボランティアの眼に 20% 溶液を適用した試験では、軽微な刺痛感、流涙、軽度な結膜の充血がみられた（ECETOC TR95（2005））と報告されている。
-----------------	--

メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------------	-----------------

ペンタデカラクトン (106-02-5)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------------	-----------------

アリルカプロエート (123-68-2)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。
-----------------	-----------------

呼吸器感受性 : 分類できない

ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)

呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
--------	-----------------

2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)

呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
--------	-----------------

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
呼吸器感作性	データなし。
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性 : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
皮膚感作性	SIDS (2012) には、モルモットを用いた皮膚感作性試験（マキシマイゼーション試験、ドレイズ法による試験等）の結果が4試験あり、3試験では陰性の結果が出ている。1試験のみ20匹中4匹に陽性がみられており、SIDS (2012) では不純物に起因することを指摘している。また、ヒトに対する本物質の感作性は低いとの記載がある。以上の結果に基づき、区分外とした。
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。なお、モルモットを用いた Maximization test において感作性はみられなかった (ECETOC TR. 64 (1995)、BUA 204 (1997)) との報告や、感作性がないとの試験報告 (EU-RAR (1999)) があるが、結果の詳細等不明であるため分類に用いるには不十分なデータと判断した。情報を精査し区分を変更した。
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
皮膚感作性	200 人の被験者の背部皮膚に適用した皮膚感作性試験において、皮膚感作性の証拠は認められず、当該物質は皮膚感作性物質ではないとの結論付けられている (SIDS (2001)) ことにより区分外とした。
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性 : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo データはなく、in vitro では細菌の復帰突然変異試験で陰性である (IUCLID (2000)) 。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、in vivo では、マウス骨髄細胞の小核試験で陰性 (DFGOT vol. 7 (1996)、EU-RAR (1999)、ACGIH (7th, 2013)、PATTY (6th, 2012))、in vitro では、マウスリンフォーマ試験で弱陽性の結果はあるが、それ以外の試験、すなわち、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験、遺伝子突然変異試験、不定期 DNA 合成試験で陰性である (ACGIH (7th, 2013)、DFGOT vol. 7 (1996)、EU-RAR (1999)、PATTY (6th, 2012))。
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
生殖細胞変異原性	in vivo の試験データがなく分類できない。なお、in vitro の試験としてエームス試験および CHL 細胞を用いた染色体異常試験でいずれも陰性 (SIDS (2001)) の報告がある。
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性 : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
発がん性	国際機関による分類もされておらず、データ不足のため分類できない。
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
発がん性	データなし。
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性 : 分類できない	

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
生殖毒性	ラットを用いた経口経路（強制）での発生毒性試験（OECD TG414）において、母動物毒性（死亡（1/21 例が妊娠 15 日に死亡）、異常な体位（13/21）、立毛（2/21）、運動量の減少、体重減少（対照群の最大 17%減）、胃の潰瘍（2/21）、粘膜の肥厚（20/21））が 3,300 mg/kg/day（活性成分 950 mg/kg/day 相当）でみられ、この用量で吸収胚の増加、生存胎児の減少、胎児体重の減少がみられた。なお、この下の用量である 990 mg/kg/day（活性成分 286 mg/kg/day 相当）では母動物毒性はみられるが児の発生に影響はみられていない（SIDS（2012））。以上のように母動物に影響がみられる用量においてのみ胎児に影響がみられたことから区分 2 とした。なお、生殖能に関するデータは得られていない。
NOAEL(動物/メス、F0/P)	300 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: メス、ガイドライン: その他:
NOAEL(動物/メス、F1)	1000 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: メス、ガイドライン: その他:
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
生殖毒性	ヒトの生殖影響に関する情報はない。実験動物では、本物質をラットの雌雄いずれかに交配前から強制経口投与し、非ばく露のペアと交配させた 1 世代試験において、1,000 mg/kg/day までの用量で、雌雄親動物の繁殖能への有害影響はみられなかったが、1,000 mg/kg/day の F1 出生児に哺育期後期の体重増加抑制がみられた (EU-RAR (1999))。また、ラットに交配前 13 週間、及び雌は妊娠 20 日まで、2,000 mg/kg/day を経皮適用した 1 世代試験でも雌雄ともに繁殖能への有害影響は認められなかった (EU-RAR (1999)、ACGIH (7th, 2013))。一方、発生毒性影響としては、妊娠雌ラットの器官形成期 (妊娠 6-15 日) に強制経口投与した発生毒性試験において、母動物の 25%が死亡する高用量 (2,050 mg/kg/day) まで投与しても、新生児の出生数、生後 3 日までの生存率、体重推移に影響はみられなかった (催奇形性の有無は評価対象外) との記述、並びに妊娠雌ラットの全妊娠期間を通して混餌投与した催奇形性試験では、母動物に体重増加抑制がみられる用量でも、出生前後の発生影響はみられなかったとの記述がある (EU-RAR (1999)、ACGIH (7th, 2013))。また、妊娠ウサギの器官形成期 (妊娠 8-19 日) に閉塞経皮適用した催奇形性試験において、母動物に統計的に有意ではないが体重増加抑制の傾向がみられ、皮膚刺激性が観察される用量まで投与したが、胎児には奇形も含めて発生毒性はみられなかったとの記述がある (EU-RAR (1999)、ACGIH (7th, 2013))。以上、実験動物では経口及び経皮の 2 経路で、親動物の繁殖能への有害影響、及び奇形を含む発生毒性影響は概ね生じないと考えられるが、経口経路のラット 1 世代試験では高用量群の出生児に哺育期間中の成長抑制を示唆する結果も得られており、「区分外」とするにはヒトの見解も含めてデータが不十分と判断された。よって、本項は「分類できない」とした。
NOAEL(動物/オス、F0/P)	> 452 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: オス、ガイドライン: その他:
NOAEL(動物/メス、F0/P)	> 470 mg/kg BW 動物: ネズミ、動物の性別: メス、ガイドライン: その他:
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
生殖毒性	妊娠ラットおよびウサギの器官形成期に吸入ばく露した試験において、常温常圧下で実現可能な最高濃度 300 ppm で両動物種とも胚・胎児毒性または催奇形性を示さず、仔の発生に悪影響は認められなかった（SIDS（2001））が、性機能および生殖能に対する影響に関してはデータがなく分類できない。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
NOAEL(動物/オス、F0/P)	750 mg/kg BW 動物: ラット、動物の性別: オス、ガイドライン: OECD ガイドライン 422 (生殖/発達毒性スクリーニング試験を伴う反復投与毒性試験)
NOAEL(動物/メス、F0/P)	100 mg/kg BW 動物: ラット、動物の性別: メス、ガイドライン: OECD ガイドライン 422 (反復投与毒性試験と生殖/発達毒性スクリーニング試験の併用)
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの経口投与試験において、ガイダンスの範囲外の用量（5-10 g/kg）で回復性の自発運動低下、運動協調性欠如、姿勢異常、立毛がみられた（SIDS（2012））ため区分3（麻酔作用）とした。
2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトに関する情報はない。実験動物では、ウサギへの区分2相当の2,000 mg/kg 経口投与で死亡が発生し、1,060 mg/kg で腹臥位、一過性の無緊張、脱力状態、呼吸促進、麻酔症状、腎臓傷害がみられた (DFGOT vol. 7 (1996))。また、「本物質は経口及び経皮経路で急性毒性は弱い。」との情報、「マウス、ラットの経口投与で、死亡前の毒性徴候は活動低下、努力呼吸、食欲低下、衰弱、振戦」であるが、その用量は区分2を超えること、「ウサギの経皮ばく露で、食欲低下、腎臓肥大、腎盂の褪色、胸腺における浮腫や出血性傷害」がみられたが、その用量は区分2を超える（以上、EU-RAR (1999)）。以上より、ウサギの経皮ばく露で腎臓への影響が考えられるが、区分2を超える用量範囲のため、腎臓を区分対象としなかった。その他の所見は、麻酔作用によるものであるため、区分3(麻酔作用)とした。情報を確認し、旧分類の区分を見直した。
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットにおいて、経口投与により中枢神経系抑制、7時間吸入ばく露により軽度の麻酔が認められており（SIDS（2001））、さらに、ウサギに経皮投与により一過性の麻酔作用が報告されている（SIDS（2001））ことから、区分3（麻酔作用）とした。また、ヒトで鼻に僅かな刺激があり、咽喉や気道に刺激を起こす最小濃度について言及されている（SIDS（2001））。また、100 ppm 以上では最初に中枢神経障害の徴候が現れる前に、鼻、咽喉、気道の刺激が苦痛を与えるとの記述（ACGIH（2001））により、区分3（気道刺激性）とした。
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

アリルカプロエート (123-68-2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (肝臓, 呼吸器系)	
エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
NOAEL (経口、ラット、90 日)	488 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408 (げっ歯類における反復投与 90 日間経口毒性)
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットに 90 日間強制経口投与した試験において、区分 2 のガイダンス値範囲を上回る用量 (150 mg/kg/day) で、前胃の組織変化 (雌雄) が、また最高用量 (300 mg/kg/day) で、尿潜血陽性例の頻度増加 (雄) がみられたのみである (SIDS (2012))。よって、経口経路では区分外相当であるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できないとした。
2- (2-プトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに関する情報はない。実験動物では、ラットを用いた 5 週間吸入毒性試験において、117 mg/m3 (ガイダンス値換算 : 0.0325 mg/L) で肝臓の相対重量増加、肝細胞脂肪変性がみられている (EU-RAR (2000))。また、ラットを用いた 2 週間吸入毒性試験において、100 mg/m3 (ガイダンス値換算 : 0.011 mg/L) で血管周囲及び気管支周囲の顆粒球白血球の細胞浸潤、細気管支化、肺重量増加がみられている (EU-RAR (2000))。これらはいずれも区分 1 の範囲でみられた。なお、血液系 (赤血球) への影響として溶血がみられたが区分 2 の範囲を超える用量であった。ラットを用いた 6 週間強制経口投与毒性試験において、溶血性貧血、肝臓重量増加、前胃の角化亢進・棘細胞増生がみられ (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012)、DFGOT vol. 7 (1996))、13 週間飲水投与毒性試験において溶血性貧血、肝臓重量増加がみられた (PATTY (6th, 2012))。これらは区分 2 の範囲を超える用量であった。ラットを用いた 13 週間経皮投与毒性試験において、全身影響はみられていない (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012))。したがって、区分 1 (呼吸器、肝臓) とした。旧分類では吸入経路での毒性影響が明確でないことから分類できないとなっていた。しかし、得られた吸入経路の情報から分類が可能であった。
NOAEL (経口、ラット、90 日)	250 mg/kg BW
NOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90 日)	< 200 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: その他:、ガイドライン: OECD ガイドライン 411 (亜慢性経皮毒性: 90 日間試験)

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの4週間経口投与試験において、高用量群の1000 mg/kg/day (90日換算: 308 mg/kg/day) で一時的な流涎、肝臓の有意な重量増加と小葉中心性肝細胞肥大が認められているが、その他には試験物質投与の影響は報告されていない (SIDS (2001))。この肝臓の所見については適応性の変化と結論付けられている (SIDS (2001)) ので、ガイダンス値範囲を超えた高用量でも悪影響が見出されなかったことになり、経口経路では区分外相当となる。一方、ラットの4週間経皮投与試験のNOELは1000 mg/kg/day (90日換算: 308 mg/kg/day)、また、ウサギの90日間経皮投与試験のNOELは2850 mg/kg/day (SIDS (2001)) であり、いずれもガイダンス値範囲の上限を超えている。さらに、ラットまたはウサギの13週間吸入ばく露試験 (蒸気: 6 hours/day; 5 days/week) のNOELは200 ppm (1.212 mg/L) 以上 (SIDS (2001)) であり、ガイダンス値範囲の上限を超えている。したがって、経皮および吸入の両経路においても区分外に相当することから、特定標的臓器毒性 (反復暴露) の分類は区分外とした。
NOAEL (経口、ラット、90日)	1000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: その他: カンポギョ No.700、ヤクハツ No.1039.61、キキク No.1014。
NOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	2850 mg/kg BW 動物: ウサギ、動物の性別: 男性、ガイドライン: OECD ガイドライン 411 (亜慢性皮膚毒性: 90日間試験)
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
NOAEL (経口、ラット、90日)	≥ 1000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408 (げっ歯類における90日間の反復投与経口毒性)
アリルカプロエート (123-68-2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、ラットを用いた1年間混餌試験で125 mg/kg/day (餌からの蒸散を考慮して86 mg/kg/dayと推定) で有害影響はみられなかったという報告のほか、ラットを用いた短期試験 (おそらく経口投与) において50 mg/kg/dayで肝毒性はみられないとの報告がある (JECFA TRS 868 (1997))。
誤えん有害性 : 分類できない	
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。なお、HSDB (Access on June 2015) に収載された数値データより、動粘性率計算値は0.069 mm ² /sec (20°C) (粘性率: 0.0649 mPa・s; 密度 (比重): 0.9536) と算出される。
動粘性率	6.794 mm ² /s
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
誤えん有害性	データなし。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
アリルカプロエート (123-68-2)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない

エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
EC50 72h - 藻類 [1]	> 511 mg/l 試験生物（種） : Desmodesmus subspicatus（旧名 : Scenedesmus subspicatus）
EC50 72h - 藻類 [2]	511 mg/l 試験生物（種） : Desmodesmus subspicatus（旧名 : Scenedesmus subspicatus）
EC50 96h - 藻類 [1]	13859.488 mg/l 出典: ECOSAR
LOEC (慢性)	6.86 mg/l 試験生物（種） : オオミジンコ 期間 : 21 日
NOEC (慢性)	1.4 mg/l 試験生物（種） : オオミジンコ 期間 : 21 日
NOEC 魚 慢性	≥ 1.357 mg/l 試験生物（種） : Pimephales promelas 期間 : 42 日
コカミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類（Scenedesmus subspicatus）の 72 時間 ErC50 = ca. 1.3 mg/L（SIDS, 2012）から、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急速分解性があり（BOD による分解度 : 86-93%（SIDS, 2012））、藻類（Scenedesmus subspicatus）の 72 時間 NOEC = ca. 0.09 mg/L（SIDS, 2012）であることから、区分 2 とした。
LC50 - 魚 [1]	2 mg/l 試験生物（種） : Danio rerio（旧名 : Brachydanio rerio）
ErC50 藻類	1.3 mg/l
NOEC 藻類 慢性	0.09 mg/l
2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類（セネデスムス）96 時間 EC50 > 100 mg/L、甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EC50 > 100 mg/L、魚類（ブルーギル）96 時間 LC50 = 1300 mg/L（いずれも EU-RAR, 1999）であることから、区分外とした。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
水生環境有害性 長期 (慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。難水溶性ではなく (水溶解度 = 1000000 mg/L、PHYSPROP Database 2009)、急性毒性が区分外であることから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	1300 mg/l 試験生物 (種) : Lepomismacrochirus
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l 試験生物 (種) : Lepomismacrochirus
EC50 96h - 藻類 [1]	> 100 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧称 : Scenedesmus subspicatus)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.56
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類、甲殻類、魚類のいずれの急性毒性試験においても、LC50 または EC50 が 100 mg/L を超えている (SIDS, 2003) ことから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分外であり、難水溶性でない (水溶解度 = 1000000 mg/L (PHYSPROP Database, 2011)) ことから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l 試験生物 (種) : Poecilia reticulata
EC50 - 他の水生生物 [1]	1930 mg/l 試験生物 (種) : その他の水生甲殻類 : Acartia tonsa
EC50 72h - 藻類 [1]	> 969 mg/l 試験生物 (種) : Pseudokirchneriella subcapitata (以前の名称 : Raphidocelis subcapitata、Selenastrum capricornutum)
EC50 96h - 藻類 [1]	> 969 mg/l 試験生物 (種) : Pseudokirchneriella subcapitata (以前の名称 : Raphidocelis subcapitata、Selenastrum capricornutum)
LOEC (慢性)	0.5 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna 期間 : 「22 日」
NOEC (慢性)	≥ 0.5 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna 期間 : 「22 日」
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	5.3 mg/l 試験生物 (種) : Oncorhynchus mykiss (旧名 : Salmo gairdneri)
EC50 72h - 藻類 [1]	28 mg/l 試験生物 (種) : Raphidocelis subcapitata (旧名 : Pseudokirchneriella subcapitata、Selenastrum capricornutum)
EC50 72h - 藻類 [2]	14 mg/l 試験生物 (種) : Raphidocelis subcapitata (旧名 : Pseudokirchneriella subcapitata、Selenastrum capricornutum)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.51 出典: EPISUITE
ペンタデカラクトン (106-02-5)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	2 mg/l 試験生物 (種) : Oncorhynchus mykiss (旧名 : Salmo gairdneri)
LC50 - 魚 [2]	> 0.797 mg/l 試験生物 (種) : Oncorhynchus mykiss (旧名 : Salmo gairdneri)

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ペンタデカラクトン (106-02-5)	
EC50 - 甲殻類 [1]	> 0.17 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	0.4 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧称 : Scenedesmus subspicatus)
EC50 72h - 藻類 [2]	> 0.47 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧称 : Scenedesmus subspicatus)
EC50 96h - 藻類 [1]	0.02 mg/l 出典 : ECOSAR
LOEC (慢性)	0.127 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC (慢性)	0.068 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna 期間 : 「21 日」
NOEC 魚 慢性	0.027 mg/l 試験生物 (種) : ファットヘッドミノー持続時間 : 「33 日」
アリルカプロエート (123-68-2)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	0.117 mg/l 試験生物 (種) : ダニオ・レリオ (旧名 : ゼブラフィッシュ)
EC50 - 甲殻類 [1]	2 mg/l 試験生物 (種) : オオミジンコ
EC50 72h - 藻類 [1]	> 4.6 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧名 : Scenedesmus subspicatus)
EC50 72h - 藻類 [2]	0.778 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧名 : Scenedesmus subspicatus)
EC50 96h - 藻類 [1]	0.46 mg/l 出典 : ECOSAR
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.191 出典 : ECHA

残留性・分解性

HALO - Hydrophobic Shampoo	
残留性・分解性	急速分解性でない
エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
残留性・分解性	急速分解性でない
ココミドプロピルベタイン (61789-40-0)	
残留性・分解性	急速分解性
2- (2-プトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない
ジプロピレングリコールメチルエーテル (34590-94-8)	
残留性・分解性	急速分解性でない
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
残留性・分解性	急速分解性でない

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ペンタデカラクトン (106-02-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない
アリルカプロエート (123-68-2)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

HALO - Hydrophobic Shampoo	
生体蓄積性	データなし
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.56
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.51 出典: EPISUITE
アリルカプロエート (123-68-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.191 出典 : ECHA

土壌中の移動性

HALO - Hydrophobic Shampoo	
土壌中の移動性	データなし
2- (2-ブトキシエトキシ) エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (112-34-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.56
メチレンジオキシフェニルメチルプロパナール (1205-17-0)	
土壌中の移動性	157 出典: EPISUITE
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.51 出典: EPISUITE
アリルカプロエート (123-68-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.191 出典 : ECHA

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。 環境への放出を避けること。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 環境への放出を避けること。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 監視化学物質 (法第 2 条第 4 項)
優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項)

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号～第 2 号別表第 9)

【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 3 号別表第 9)
危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号～第 2 号別表第 9)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル (政令番号 : 224 の 4) (5%未満)
1 - (2 - メトキシ - 2 - メチルエトキシ) - 2 - プロパノール (政令番号 : 601) (5%未満)
【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 3 号別表第 9)
(3 - アミノプロパン - 1 - ール) (カルボキシメチル) ジメチルアンモニウムの N - ココアシル誘導体内部塩 (5%未満)
腐食性液体 (労働安全衛生規則第 3 2 6 条)

水質汚濁防止法 : 指定物質 (法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)

大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物 (法第 2 条第 4 項) (環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法 : 有害でない物質 (施行令別表第 1 の 2)
有害液体物質 (Y 類物質) (施行令別表第 1)
有害液体物質 (Z 類物質) (施行令別表第 1)
有害液体物質 (Y 類同等の物質) (環境省告示第 1 4 8 号第 2 号)
有害液体物質 (Z 類同等の物質) (環境省告示第 1 4 8 号第 3 号)

安全データシート

HALO - Hydrophobic Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

外国為替及び外国貿易法	： 輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号輸入承認品目「2 の 2 号承認」 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項 輸出貿易管理令別表第 2（輸出の承認）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	： 特定有害廃棄物（法第 2 条第 1 項第 1 号イ、平成 30 年 6 月 18 日省令第 12 号）
水道法	： 有害物質（法第 4 条第 2 項）、水質基準（平 15 省令 101 号）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	： 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1） ジエチレングリコールモノブチルエーテル (管理番号 : 627) (1.2%) 〔（3-アルカンアミドプロピル）（ジメチル）アンモニオ〕アセタート（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が 8、10、12、14、16 又は 18 のもの及びその混合物に限る。）及び（Z）-〔〔3-（オクタデカ-9-エンアミド）プロピル〕（ジメチル）アンモニオ〕アセタート並びにこれらの混合物 (管理番号 : 574) (2.4%)
労働基準法	： 疾病化学物質（法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1）
農薬取締法	： 特定農薬（法第 3 条第 1 項、平成 15 年 3 月 4 日告示第 1 号）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある。製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。